

# 管理組合ニュース

## 第32期第5号(通算第29号)

発行日:2013/9/2



### 緑の環境を育み資産価値を守りましょう

環境整備担当理事 大上修造 (5-104)

志木ニュータウンが完成して早や30年以上経過し、当初は中・低木程度だった樹木が現在は大木・高木にまで成長しました。販売当初のキャッチフレーズであった「森の街」が正に現実となりました。しかし、成長に伴って様々

な課題が起きているのも事実です。この緒課題の解決のために、今期の環境整備担当理事と環境整備専門委員の全員は、対応項目に優先順位を付けて取組み、改善を図っていきます。

#### 1. 基本的な考え方

- 優先順位付の基本は、
- ① 今期理事会の環境整備方針に基づく案件
  - ② 組合員の生活の安全・健康確保を優先

- ③ 人目につき易い場所の樹木・灌木類の修復・手入れ
- ④ 枯木や一部欠損等により美観を損ねている場所の修復・補植の順で取組み・推進します。

#### 2. 具体的優先取組項目

具体的な優先取組項目は以下の通りです。

- ① 円形広場北側のヒマラヤスギ根元のレンガ囲いの修復と周辺整備・美化
- ② 腐食・破損した木柵の更新(円形広場横、集会所北側)
- ③ 枯木や植物の一部欠損等により美観を損ねている場所の修復・補植

- ④ 市指定保存樹木の追加申請(現在20本が市指定済み、年3千円/本の補助金あり)
  - ⑤ 台風時期を迎え建物に接触が予測される樹木の枝の剪定、歩行に支障が予測される枝の剪定、樹木景観を損なわない程度の枝打ち等
- 以上を優先取組項目として活動します。



優先取組項目①の例: 円形広場北のヒマラヤスギの根元付近



優先取組項目③の例: 枯れた樹木が美観を損ねている。



優先取組項目⑤の例：ケヤキが3階、4階の高さまで成長



優先取組項目⑤の例：ケヤキの枝が建物に当たるほど成長

### 3. 今後の中武共有地内の緑環境保全の在り方

中央の森式番街共有地内には数多くの樹木、灌木並びに観葉植物等を植栽していますが、樹木の繁茂は常に夏の日陰を歓迎する「緑陰支持派」と冬の日当りを歓迎する「伐採支持派」の対立を生み出します。環境整備担当理事と環境整備専門委員は、中立の立場で妥当な結論を導く努力をしています。

緑の多さをコンセプトにしている「中央の森」としての当該区においては、大きく成長した木をいきなり伐採することは出来ませんが、成熟期に入った街区内の植栽は最早「緑化一本やり」の時代を卒業し、高木・中木・低木・灌木・地被類・草花のバランスを考慮した「整理整頓」に着手する時期と考えられます。

### 4. 植栽地図完成を目指して

その「整理整頓」の為の基礎データとして、貴重な財産であるこれらの植物類分布図を取込んだ植栽地図を現在、鋭意作成中です。この植物類の分布を種類別に地図に書込み今後の育成、移植、植替え等の整理整頓の資料として

3 2期以降の管理組合でも活用に耐えられるような植栽地図の完成を目指しています。植栽の対応次第によっては動植物の生態系も変化します。中央の森式番街を緑豊かで小鳥等が飛来するような環境作りを目指しています。

### 5. 環境整備担当理事と環境整備専門委員からのご挨拶

当面の課題への取組みと方向付けに従って、中武の資産価値の維持・向上に努めたいと思っていますので組合員皆様のご理解とご協力をお願いします。

#### ■ 環境整備担当理事

神前 真弓（副理事長） (3-503)  
 本多 公恵（理事） (1-103)  
 大上 修造（理事） (5-104)  
 守谷 典子（理事） (6-1010)

#### ■ 環境整備専門委員

佐々木 坦（監事） (2-303)  
 永野 つね（委嘱） (4-410)

以上、6名で頑張っています。

### 【訂正とお詫び】

8月20日発行の管理組合ニュース第3号（通算第27号）で、次の誤りがありましたので訂正すると共にお詫び申し上げます。

| ページ | 項目     | 正           |   | 誤           | 理由     |
|-----|--------|-------------|---|-------------|--------|
| 2   | 給食・給水班 | 6-810 佐藤久仁代 | ← | 6-801 佐藤久仁代 | 室番号の誤り |
| 2   | 給食・給水班 | 7-101 鎌田多喜子 | ← | 7-101 蒲田多喜子 | お名前の誤り |